

練馬区立小中一貫教育校推進委員会（第18回） 要点記録

| | | |
|------|-------------------------------|---|
| 開催日時 | 平成23年1月18日(火) 午後2時00分～午後2時55分 | |
| 会場 | 大泉学園桜中学校2階 多目的室 | |
| 出席者 | 委員 | 本木薫、中島広美、諏崎啓美、伊藤照代、下村恭子、大和田隆彦、渡邊裕、中田清、相馬功紀、坂口節子、小川善昭、時政千恵子、坂田美由紀、木下川肇、高島邦夫、伊藤隆、元木靖則、室地隆彦 (敬称略) |
| | その他 | 教育長、教育出版 |
| | 事務局 | 新しい学校づくり担当課、教育指導課 |
| 傍聴者 | 1名 | |
| 案件 | 1 小中一貫教育校実施計画のまとめ 2 その他 | |

1 小中一貫教育校実施計画のまとめ

委員長

第18回小中一貫教育校推進委員会を開催する。小中一貫教育校実施計画のまとめについて、事務局から説明をお願いする。

事務局

小中一貫教育校実施計画については、前回の会議で検討いただいた後、文言の修正・追加等をさせていただいた。

委員長

小中一貫教育校実施計画について、全体を通してお気付きの点、質問があればお願いします。特に修正点はないということであれば、このような形で「小中一貫教育校実施計画」をまとめたいと思うが、拍手をもってご承認いただきたい。

(拍手)

2 その他

委員長

次に、大泉学園桜小・中学校から学校説明会について報告をお願いする。

委員

2月10日の午後2時40分より大泉学園桜中学校体育館において学校説明会と新入生保護者説明会を行う予定である。第1部では大泉学園の理念や特色を説明し、第2部では新1年生

と新7年生に対して具体的な入学の準備などを中心に説明させていただこうと考えている。

案内のプリントを大泉学園桜小学校、大泉学園緑小学校の保護者の方々にお届けしたいと思う。地域の方々にもお越しいただきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

委員

標準服については特に小学校の保護者はどのようなものか気にされていると思うので、パンフレットをお手紙とともにお届けする予定である。

委員長

次に、その他連絡事項をお願ひする。

委員

新しい学校のバッチが完成したので、見ていただければと思う。

委員長

校章を回すのでご覧いただきたい。その他連絡事項をお願ひする。

事務局

統一校歌については、2月上旬にできあがるよう進めている。2月10日の学校説明会用のパンフレットには掲載できるよう間に合わせたい。委員の皆様には郵送でお知らせするということを了承いただきたい。

委員長

質問がなければ本日の案件を終了させていただくが、全般にわたり言い漏らしたことなどあれば発言をお願ひする。

委員

4月からどのようなスケジュールで入学式などの行事が組まれているのかを伺いたい。

委員

4月6日に開校式と始業式を行う。7日には1年生と7年生合同の入学式を行い、在校生からは東校舎最高学年の4年生と全体の最高学年の9年生が出席する。新しい校歌で入学式ができるよう準備したい。

休み中に新4年生には1年生の教室の装飾のため登校してもらったり、朝の教員打ち合わせの間は1年生の面倒を見てもらうなどして、下級生のお世話をする学年だという意識をもたせていきたいと思う。周年行事については、11月5日ということで計画を立てているので、よろしくお願ひしたい。

委員長

他に質問がなければ事務局よりこれからの段取りの説明をお願ひしたい。

事務局

まとめていただいた「小中一貫教育校実施計画」を委員長から教育長にお渡しいただき、教育長からごあいさつを申し上げます。

そのあと委員の皆様から一言ずついただきたい。

委員長

練馬区立小中一貫教育校推進委員会は18回にわたり、「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」の開校に向け、教育内容、学校経営等について鋭意検討を行ってきた。検討結果については「練馬区立小中一貫教育校実施計画」として取りまとめたので、別紙のとおり報告させていただきます。

教育長

ただいま委員長から報告書をいただいた。推進委員会の皆様には小中一貫教育校の開校に向けて2年間、18回にわたり熱心に検討していただいた。練馬区として初めての経験であり、私も行政もどこから検討していいものか模索しながらのスタートだったが、皆様には地域の代表、教育関係者としてご協力いただきありがとうございました。

大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校が小中一貫教育校として開校するにあたり、保護者や地域の皆様のご協力のもと児童・生徒にとっても魅力ある学校になるよう検討していただいたと認識している。特に統一校名では様々な角度から、活発な意見をいただいたことに感謝申し上げます。

2つに絞られた校名は甲乙つけがたく、教育委員会で協議した結果「練馬区立小中一貫教育校 大泉桜学園」に決定した。皆様の思いもあろうかと思うが、ご理解いただき、地域の皆様に認知されるようご協力をお願いしたい。この実施計画に基づき教職員が一丸となって教育活動を始めるが、教育委員会としても支援していくので、よろしく願いしたい。

平成23年度からは小中学校の校舎が離れている条件での小中一貫・連携教育の推進に向けた具体的な取組を教育委員会として進めることになり、7つの研究グループ15校を指定して研究を始めることとなった。将来的には大泉桜学園の教育活動の成果と研究グループの研究成果を全小中学校の教育に生かし、義務教育の9年間を練馬の学校、あるいは練馬の地域で生活して良かったと実感できるような教育を目指していく。

練馬区第1号の小中一貫教育校である大泉桜学園が、各自治体が参考にするために見学に来てもらえるような学校になるよう、私どもも努力していくのでよろしく願いしたい。簡単だが、お礼の挨拶にかえさせていただく。ありがとうございました。

委員長

ありがとうございました。続いて各委員から一言ごあいさつをいただきたい。

委員

この2年間ありがとうございました。振り返るとあっという間の気がするが、実施計画を見ると内容的にも時間の長さや深さを感じる。うちの娘も新6年生と新9年生としてお世話になるが、どのような学校生活を送るのか期待しているので、保護者としては愛される学校づくり

に協力できるようがんばりたいと思う。

委員

2年間ありがとうございました。最初はどんな意見を言っているのかも分からなかったが、こうやって1つの学校ができるのだということを勉強させていただいた。不安もたくさんあるが、先に向かって良い結果が出るように親として今後は参加させていただきたいと思う。

委員

2年間ありがとうございました。残念ながらうちの子は春に卒業してしまうが、開校を楽しみにしている。

委員

2年間お世話になりありがとうございました。実施計画ができあがるまでの準備段階も大変だったが、これからも新しいことがたくさんあり、先生方は大変だと思う。うちには3人の子が西校舎でお世話になるが、一保護者としていろいろな形で協力したいと思うので、これからもよろしくお願ひしたい。

委員

昨年4月に父母会長に就き、前会長から引き継いで参加させていただいた。何度か欠席したが、送られてくる資料を読んで保護者からの質問にも答えることができた。力になれたかどうか分からないが、ありがとうございました。

委員

昨年5月、途中から参加させていただいた。新しい学校ができる過程で大変貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。大泉桜学園には、ほかのどんな地域の小中一貫校よりすごいと言われる素晴らしい学校になっていただきたいと思う。地域の子供たちのために、これからもよろしくお願ひしたい。

委員

私も途中からの参加だったが、本当に貴重な体験をさせていただいた。桜中とは同じ地区ということで、身近な気持ちで参画できたのが、ありがたかった。私たちも地域に戻れば学校を育てていくという意識をもっているが、大泉桜学園でもよりよい学校になるよう、ぜひがんばっていただきたい。新たな取組ということで、知りたいこともたくさんあり、今後は保護者の方などと情報を密にして関わっていければと思う。ありがとうございました。

委員

これからが大変かなというような感じも受ける。68年前に松本の付属の一貫校で経験はしていたが、分からないことが多かった。今後ともよろしくお願ひしたい。

委員

この2年間ありがとうございました。ここ2回ほど、どうしても来られず欠席したが、このような実施計画となり、不安はなく楽しみだ。できれば孫をここに転校させたいという気持ちもある。大泉桜学園には発展してもらいたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

委員

小学校にも中学校にも変わってはいけないものがあるが、小中一貫校になったなら変わらなければならぬものや、新しく生み出すものがあり、そのための計画だったと思う。地域に住んでいるものとして、どのように変わったり、どんな新しいものが生まれるのか楽しみに見守っていきたいと思う。応援団のつもりでいるので役に立つことがあれば申し出ていただきたい。ありがとうございました。

委員

4つの町会の代表として参加させていただいた。先生方やPTAの方々が本当に熱心にかんばり、実施計画がよくまとまったと思う。地域としては大変期待しており、「学園町にいい学校ができたな」と言われるのを楽しみに、応援させていただこうと思う。

委員

2年間お世話になり、ありがとうございました。私の子供3人もこちらを卒業させていただいているので、すごく愛着がある。制服の写真の載った「小中一貫教育校だより」はインパクトがあったようで、うちの近所ではかなり知名度が上がったようだ。地域の方にもいろいろ聞かれて答えたりしており、これからも広報マンとしてお役に立てればと思う。新しい学校には大変期待しているので、今後も応援させていただく。

委員

お忙しいなか、2年間審議していただきありがとうございました。私としてはこれからは勝負だという気持ちでいる。この会で大枠を作り、審議していただいたことを無駄にしないよう細部を検討して良い学校をつくっていききたいと思う。

新年初めての全校朝礼で大泉桜学園の話をしたが、児童たちはいつも以上に真剣に話を聞いていた。その姿は新しい学校に対する期待の表れであり、その期待にぜひ応えなければならない。開校に向けて決めなければならないことがたくさんあり、中学校長といっしょに多くの時間を使って検討を重ねている。引き続き応援をよろしくお願ひしたい。

委員

2年間ありがとうございました。今の心境としては、1点の不安もないが緊張は相当ある。理由の1つは、皆様からたくさん期待のお言葉をいただいていることと、子供たちがいろいろなところで大泉桜学園に対して期待をもっているからである。

もう1つの理由として、学校の大枠はできていると思うが、これからは集中力とデリケートさで新しい学校の教育課程を作りこまなければならない。そして、それを子供たちに反映させなければならない。充実した教育計画策定に時間がいくらあっても足りないからである。

しかし、職員が迷わぬよう、小学校長とともにリーダーシップを示して努力していくので、今後ともよろしく願いたい。

委員

この2年間の推進委員会の努力と工夫、情熱が本日「実施計画」という具体的な形になった。もちろん練馬区の多大な支援もあつてのことだが、私にとっては非常に勉強になる2年間だった。現在、桜小学校、桜中学校では2人の校長を中心に、ここには出ていない細かいことについて話を進めており、私たち以上の努力をされていると思うが、積み重ねてきたものは必ず結実すると信じている。緑小の保護者や地域の方々も一貫校には大きな期待をもっており、その期待に応えられるよう努力していきたいと思う。どうもありがとうございました。

副委員長

昨年の5月から前任者を引き継ぎ、副委員長をさせていただいた。1つの学校をつくり上げる準備・計画に関わられたことをありがたいと思うとともに、その大変さもあらためて感じた。

小学校では来年度に新学習指導要領の全面実施が始まり、大きな転換期となる。その教育内容や学習内容に関して、大泉桜学園の教育が大きく関わっていくのではないかと思う。小学校長会も桜学園の皆さんと協力・連携していかなければならないと強く感じている。これからもよろしく願いたい。

委員長

練馬区の教育のなかでこのような歴史的な事業に委員長として関わられたことを誇りに思う。委員の皆さんや事務局の皆さんの多大なご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員

長い間本当にご苦勞様でした。私はどちらかという皆さんの熱心な議論を伺う立場だったが、保護者や学校、地域の皆様でいっしょにつくった成果がここに表れていると思う。両校長は見えないところでも苦勞されてきましたが、開校後もたくさん問題が出てくるものと思う。私どもは検討の結果を区の一貫校・連携校に生かしていくとともに、引き続き桜学園を応援していきたいと思うので、ぜひよりよい学校をつくっていくよう願いたい。どうもありがとうございました。

委員長

それでは事務局からもごあいさつをいただければと思う。

事務局

前課長を引き継ぎ、皆様には1年間大変お世話になりました。委員の皆様からたくさんの貴重な意見をいただきながら、私自身も考えや理解を深めることができた。推進委員会はひと区切りとなるが、大泉桜学園は開校してからが本番となる。そういう面からも精一杯努力させていただくので、引き続きお力添えをお願いしたい。どうもありがとうございました。

事務局

委員の皆様、2年間にわたる検討、本当にご苦勞様でした。ありがとうございます。先ほど校長からこれからがスタートで、ソフト面が大事であるとの話があったが、そのソフト面を担当しているのが教育指導課である。今後も学校と相談しながら皆様の期待に応じて成果を出していきたいと思うのでよろしく願いしたい。

事務局

2年間ありがとうございました。平成19年4月、教育委員会において小中一貫教育の協議を開始してから4年が経過しようとしている。その間、紆余曲折あったが、小中一貫教育校の実施計画をまとめることができた。これからも縁の下の力持ちとしてがんばっていくので、よろしく願いしたい。

事務局

推進委員会の皆様、本当にありがとうございました。この2年間、多くの小中一貫教育校を視察させていただいた。そのなかで、ある校長から「やらなければ課題として認識できないので、まずやらせてほしい」「心配はあっても1年たってからその心配を学校に伝えてほしいと、保護者や地域の方をお願いしてきた」という話を伺った。委員の皆様にはこのことをお願いしたい。

委員長

委員の皆様、事務局の皆様、ありがとうございました。

本日をもって小中一貫教育校推進委員会を終了する。本日までのご協力、ご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。